

【第 22 回アジアジュニア新体操選手権大会 3 日目】

大会 3 日目は、種目別決勝の前半種目（フープ・ボール）、および団体種目別決勝のボール 5 が行われた。

【個人：五十嵐杏】

《ボール》 7 位 得点：21.15 (DB 4.70 /DA 2.0 /A 7.3/E 7.15)

予選 1 日目よりも、全体的に伸びやかさや大きさの見える演技であった。

予選では対処をして終わった 3 つ目の R も受けも最後まで入れ切ることができ、技のダイナミックさもあり、DB においても粘りが見えた。しかし、スタートの空中下ジャンプからの突き返し DA がかなり前に飛んでしまったことで、マットの場所がなくなり方向を変えたことで、その後の転がしの DA の 360 度が足りず、バランスの DA でもふらつきがあり、3 つの DA がノーカウントとなってしまい、DA においては課題の残る実施となった。

上位の選手たちと構成に大きな差があるわけではないが、構成されているものをすべて正確にやり切る力がまだまだ足りなく、大きく点数を落としてしまっているため、明日の最終日は本人の持つエネルギーを落とさずに、ひとつひとつの精度にこだわった演技が観られることを期待したい。

【団体：イオン】

《ボール 5》 5 位 得点：18.650 (DB 2.30/DA 4.60/A 5.80/E 5.95)

出場選手：山下紗良・高田晴香・安達莉愛・池田美玲矢・池田香心

総合でのミス、反省を改善して臨み、演技前半では総合でのミスを改善し、大きなミスなくまとめることができた。だが、中盤 2 つ目の交換で取ったあとのつなぎで持っていたボールを落下。その後 3 つ目の交換で投げが真上に上がり、対処しきれず落下となった。どちらの落下も防げるミスであったが、油断や焦りを抑えきれずカバーすることが出来なかった。ここまで積んできたものが 1 本の中で発揮がしきれず悔しい演技が続いているため、最終日基本的に忠実に 1 つ 1 つ着実にこなし、まとめていきたい。

明日は、種目別決勝の個人競技（クラブ・リボン）、団体競技（リボン5）が行われる。
いよいよ試合最終日、ここまでの経験を存分に活かし、最大限持つ力を発揮できることを期待したい。